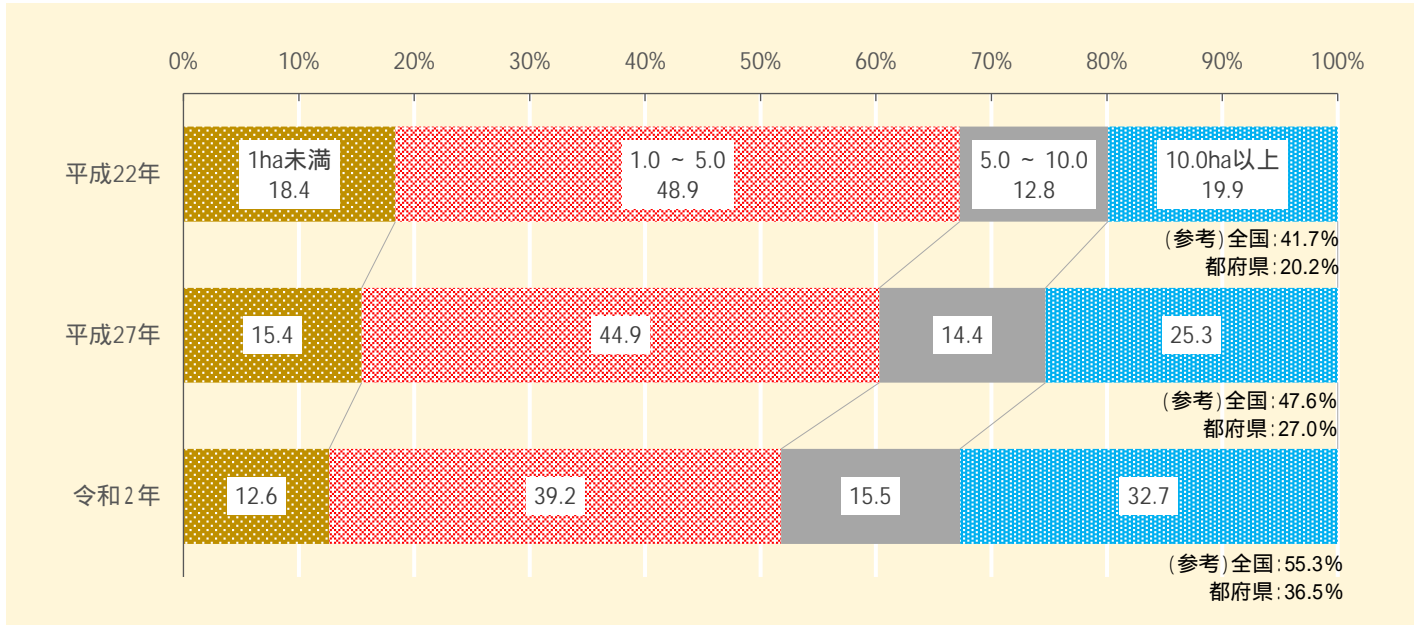


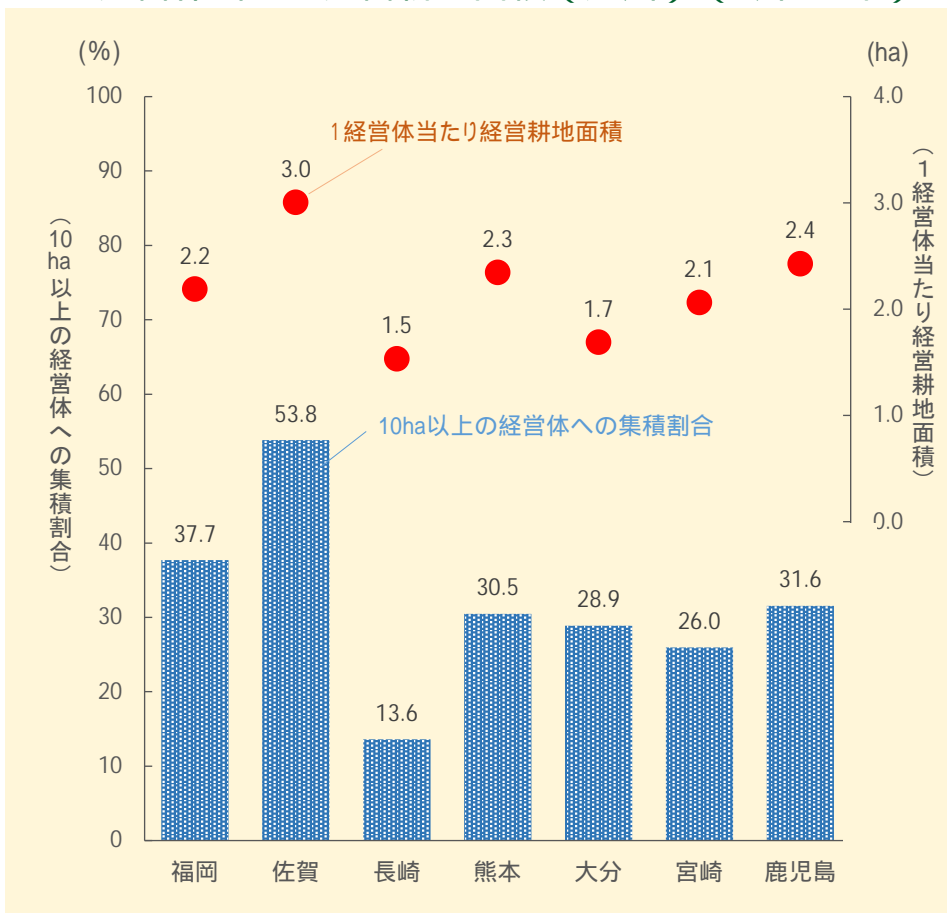
規模の大きい経営体の農地集積割合が高まっています。

経営耕地面積規模別にみた集積割合（九州）



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

10ha以上の経営体への集積割合と 1経営体当たり経営耕地面積（九州）（令和2年）



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」

経営耕地面積規模別の集積割合を年次別にみると、10ha以上の経営耕地がある経営体が集積する面積の割合が増加しています。これは全国及び都府県も同じ傾向となっており、農地の集積が進み、経営体の大規模化が進んでいることとなります。

10ha以上の経営体への集積割合を九州各県別にみると、集落営農組織等による農地集積が進んでいる佐賀県が最も高く、次いで福岡県、鹿児島県の順となっています。